

わたしたちの周りには、未来に守り伝え、引き継がなければならぬ貴重な自然環境や歴史文化があります。

しかし、美しい自然環境は、むやみやたらに足を踏み入れると、壊される恐れがあります。また、地域の歴史や文化への関心が薄れると、いつかは忘れ去られたり、失われたりする可能性があります。

エコツーリズムとは、自然環境や歴史文化など、地域の魅力を観光を通して訪れた人に体験してもらい、その地域の魅力を感じた人たちが、その地域の自然環境や歴史文化を守っていくという気持ちになり、さらにそれが保全活動などにつながっていく、そのような観光のあり方のことを言います。

わたしたちの住む佐世保のまちにも、魅力あふれる自然環境や歴史文化などの資源が豊富にあります。そんな佐世保の魅力をたくさんの人に体験してもらうことはもちろん大切ですが、破壊しないように「活用」と「保全」のバランスを保つことも大切です。そのためには、一定の制限やルール作りなども必要となってきます。

そこで、本市では、市民や観光事業者、観光案内人などの委員で構成される「佐世保地区エコツーリズム推進協議会」でエコツーリズムを今後どのように推進していくのが話し合われ、昨年、「させばエコツーリズム基本計画」が策定されました。

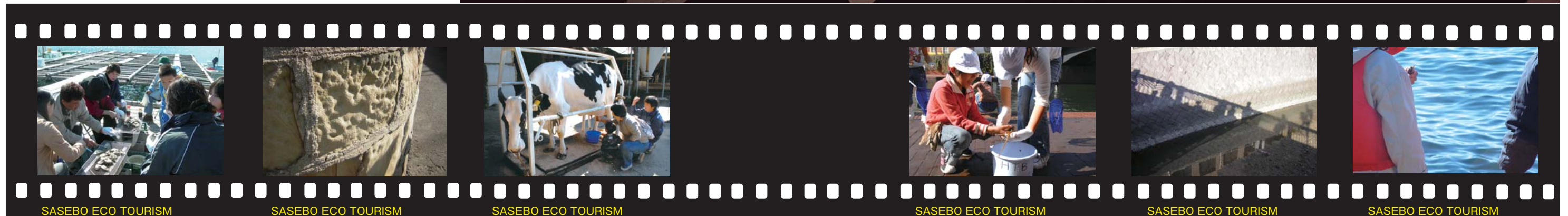
本紙でも、市民の皆さんにエコツーリズムについての理解を深めてもらうために、関連した情報を昨年8月号からシリーズでお知らせしています。今回は、エコツーリズムについておさらいしながら、『させばエコツーリズム』について一緒に考えてみましょう。

空いっぱい 空があるように  
海いっぱい 海があるように  
人よ 心いっぱい 美しいところをもって  
この空を  
この海を  
この土を  
愛そう

～「させばエコツーリズム」憲章～  
(詩人：藤浦洸ふじうら こう氏の詩から)



# 特集 させばエコツーリズム



SASEBO ECO TOURISM

SASEBO ECO TOURISM

SASEBO ECO TOURISM

SASEBO ECO TOURISM

SASEBO ECO TOURISM

SASEBO ECO TOURISM